

図書室通信



社会教育センター図書室
☎ 28・5449

休館 資料整理のため、4月30日(火)は、図書室をお休みします。

ゆめっ子のおはなし会

ボランティアグループによる楽しいおはなし会を開催します。ぜひ親子そろってご参加ください。

- ▶ **とき** 4月20日(土) 午後1時30分から
- ▶ **ところ** 社会教育センター幼児遊戯室
- ▶ **対象** 小学校低学年、幼児

絵本の森

ボランティアグループによる大型紙芝居や絵本の読み聞かせを行います。ぜひ親子そろってご参加ください。

- ▶ **とき** 4月6日(土) 午前10時30分から
- ▶ **ところ** 社会教育センター幼児遊戯室
- ▶ **対象** 小学校低学年、幼児

新刊

児童書

なんていいひ

スージー・リー 絵
リチャード・ジャクソン 文
(小学館)



雨が降る中、子どもたちは踊ったり歌ったり大はしゃぎ。傘をさしながら、外を楽しそうにお散歩します。すると、だんだん雨も止み、子どもたちのまわりがスージー・ブルーに包まれて…。生命力あふれる子どもたちの姿を描く。

一般書

二人キリ

村山 由佳 著
(集英社)



脚本家の吉弥は、少年時代に阿倍定事件に遭遇。以来、ゆえあって定の関係者を探し出し、証言を集め続けてきた。それぞれの証言が交錯する果てに、定の胸に宿る“真実”が溢れだす -。

一般書

暗殺

赤川 次郎 著
(新潮社)



大学受験の朝、駅で射殺現場を目撃しながら通報を怠った麻紀。やがて親友の恋人として再び姿を現した犯人は職業的殺人者だった。一方、事件を追う刑事のこどもは文科大臣の特殊な嗜好を知り…。

一般書

ユーカラおとめ

泉 ゆたか 著
(講談社)



絶滅の危機に瀕した口承文芸を詩情あふれる日本語に訳し、今も読み継がれる名著「アイヌ神謡集」。著者は19歳の女性だった。民族の誇り。差別との闘い。ユーカラに賭ける情熱。短い生涯を駆け抜けた知里幸恵を描く小説。

編集後記

新年度が始まった。春は出会いの季節であると同時に、新しいことを始めるのに絶好の季節である。町でも新たな事業や行事を開始し、参加者を募っている▼3月16日、昨年度から開始した子ども消防クラブの修了式が行われた。「子ども消防クラブ」は昨年の6月の消防施設見学に始まり、2月の救命講習まで5回の活動を行った。クラブ員の式典中の規律ある動作や活動報告発表する姿を見て、1年間の活動を通じて成長したクラブ員の頼もしい姿を垣間見ることができた▼子どもたちは活動の中で、普段の生活では出会わない体験や人と関わってきた。その中で、様々なことを感じ、考えたことが経験となり、出来ることが増えて、自信につながったのではないだろうか▼令和6年度は、この「子ども消防クラブ」や昨年の夏に行った「子ども記者プロジェクト」も継続するほか、「中学生の海外派遣事業」も新たに実施する。豊山の未来を担う子どもたちが成長できるまちづくりを推進するため、子どもたちに日常ではできない新たな体験を提供していきたい。興味のある方は、この機会にぜひ参加していただけたらと思います。